

# EAA シンポジウム 「東アジア音楽思想における和」



東アジア藝文書院

## 【日時】

2020年11月14日(土)  
14:00~17:30

## 【参加方法(事前登録制)】



シンポジウムへの出席を希望される方は、QRコードか下記のリンクから事前にご登録ください。登録した方に Zoom リンクをお送りします。

[https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN\\_cYQhPml7Sp00qEMrYkps3w](https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_cYQhPml7Sp00qEMrYkps3w)

## 【言語】

日本語

儒学の中で「和」という概念がどのように捉えられてきたか、そもそも儒学は本当に「和」を重視してきたのか。

もし儒学で「和」という概念が論じられるならば、その議論を中心的に担ってきたのは礼楽思想ではないだろうか。

以上のような問題意識をもとに、本シンポジウムでは日中の儒者たちがどのような「和」を目指して礼楽を論じていたのか、その諸相を提示したい。

## 【プログラム】

- 14:00 開会挨拶
- 14:10-14:40 荒木雪葉(福岡大学)「論語における音楽思想と和」
- 14:40-15:10 榎木亨(南昌大学)「『律呂新書』における「和」——蔡元定の「数之自然」と中村惕斎の「人声之自然」
- 15:10-15:40 中川優子(東京藝術大学大学院)「日本近世前期の知識人における音楽思想と「和」——熊沢蕃山・貝原益軒を例に」
- 15:40-15:55 休憩
- 15:55-16:25 田中有紀(東京大学)「中国における古琴文化と和」
- 16:25-16:55 高欲生(日本古琴振興会): オンラインコンサート
- 16:55-17:30 パネルディスカッション・総合討論

## 【主催】

東京大学東アジア藝文書院(EAA)

## 【問い合わせ先】

田中有紀(東京大学東洋文化研究所准教授)  
[yuki@ioc.u-tokyo.ac.jp](mailto:yuki@ioc.u-tokyo.ac.jp)